



武内 忍 議員 (公明)

孤立化する高齢者への支援について

① 加速度を増す高齢社会の中で、住民に一番身近な基礎自治体である区が、高齢者の見守り活動の一助として積極的な安否の確認を実施しては。

② 年一回、80歳以上の高齢者で一定期間、介護保険や医療保険の利用がない方を、民生委員等の関係者の協力も得ながら訪問などを行っては。

③ 夜間対応型訪問介護事業所活用の24時間対応システムのモデル事業について⑦今後の方向性は、①見守り体制の整備は、②改定版地域福祉計画の策定状況は、④買い物弱者支援と商店街の活性化に資する事業の実施に所見は。

健康福祉事業部長 ① 高齢者相談員でもある民生委員が、

日常の訪問活動を通じてなどで高齢者の所在や安否を確認している。②必要に応じて介護や医療保険の利用状況も考慮し、高齢者の所在や安否を確認する。③⑦モデル事業として追加している部分は、モデル期間をもって終了させる

予定だ。①シルバー交番事業の活用など、安心して生活できるようさらに詰める。⑦来年1月に地域福祉計画の区の素案をまとめる予定だ。④買い物同行サービスの試行の結果を踏まえ、地域における生活支援として検討するなどだ。

うつ病・自殺対策について

①警察や医療機関などと幅広く連携を図った、支援ネットワーク構築へ所見は。②自殺のサインに気づきネットワークにつなぐことで、自殺を直前に踏みとどまらせる役割が期待されるゲートキーパーの養成等を行っては。③認知行動療法への導入に向けた検討状況は。④保健師への研修などで基本的な考え方が学べる環境の整備を。

品川区保健所長 ① 消防や

警察をはじめ関係機関との自殺予防対策ネットワークの構築を検討するなどだ。②庁内職員を対象に研修を行い、地域の民生委員の方々へは基本的な理解を深める場の設定を検討する。③中部総合精神保健福祉センターと連携を図り、うつ病の軽減ひいては職場復帰を促進できるように支援する。④研修プログラム作成の中で具体化する。

耐震改修のさらなる促進について

①より実効性のあるきめ細かな支援をどのように図っていくのか。対象地域の拡大やマンションへの改修助成など新たなメニューも視野に入れ支援の拡充を図っては。②耐

震促進の観点からも積極的な老朽住宅の撤去費用助成制度を創出しては。

区長 ①耐震診断を受けた

方を対象にアンケート調査を行うなどで効果的な支援策について検討を行っており、区内で調整を進めている。②国で補助の予算化を検討していること聞いており、制度の制定状況を注視しながら検討する。

高齢者施設の増設と地域のための学校跡地等の活用について

①荏原東地区の一貫校の開設計に伴う杜松小学校と荏原第四中学校の跡地等の活用について⑦今後のスケジュールは。④活用計画策定に向けた基本的な考えは。今回の跡地計画に、特別養護老人ホームなどの福祉施設の整備を加えては。

企画部長 ①⑦地域の皆様

に説明の機会を持ち、ご意見を伺うなどだ。①杜松小学校跡は既存校舎を改修し、小規模特別養護老人ホームを中心とした高齢者施設および地域利用施設として平成26年度を目途に整備する。荏原第四中学校跡は、私立青稜高校の校舎の老朽建てかえに伴う仮移転先として一時的に借用した旨の要望があり協力する。②地下化については今回の計画は既存施設の活用を基本としているので、その中で創意工夫に努める。



須貝 行宏 議員 (無ク)

このままでは地域経済はダメになる。区長の考えは。

を行っている。地域経済の活性化に向けて区内産業や商業界の皆様と連携して、観光資源の充実と商店街の活性化に努めている。引き続き区内産業の発展のために地域経済政策を充実させる。

教育長に聞く、塾が支える公教育でいいのか

①今の学校に学習習慣を身につけさせる環境があるのか。②理解度が低い子に補習を受けさせる環境があるのか。補習時間と補習講師をつけては。③私立学校を受験する中学生には、子どもや保護者に現在の学力を知らせるための環境が整っているのか。民間模擬テストを受けないで的確な私立受験の進路指導ができるのか。定期的に模擬テストを実施できないのか。④公立学校の学力が学習塾によって支えられている学習環境に対してどう考えるのか。⑤学校は本来学問を学ぶための場であり、その教育は学校の役割だ。学

教育長 ①さまざまな工夫

を重ねて、定着を図っている。今後も家庭学習の大切さを働きかける。②放課後を活用して行っているなどだ。これらには教員に加え、年間200人を超える講師等を配置し、理解度に応じた指導の徹底を図っているなどだ。③国の学習指導要領などに基づいた指導を行うことが公立学校としての使命だ。生徒の実態などに応じ適切な対応を行っており、私立受験に不利という実態はない。④6年生の通塾率はほぼ都平均並みなどだが、学力

調査の結果は小中学校とも全国平均を上回っている。品川区の公教育が塾に支えられている認識はない。⑤9年間で身につけるべき学力は学校で身につけさせることが小中一貫教育のねらいだ。

区議会議員も品川区も経費の削減を

①多くの区民は支出を減らすなどして身を削って頑張っている。区民の代表である区議会議員も議員数や経費の削減に努めるなど身を削るべきでは。②選挙管理委員、教育委員、監査委員などの月額報酬は高過ぎる。日額報酬が常識だ。削減した予算を困っている人の支援につかうべきだ。⑦民生委員や町会役員など多くの区民はボランティア

削減につながるものではない。

アとして協力していただいている。一部の方だけに多額の報酬を払うことは間違っているのでは。④有識者の方も日常忙しいので、夜間や土曜等に審議会を開催すれば高額報酬をなくせるのでは。

総務部長 ①昨年に期末手当の引き下げをはじめ、行政

委員会の委員を含め費用弁償等の減額の条例改正が議決された。区議会の自律性の観点から、まずは区議会の中で検討していただくことが適当だ。②⑦本年第1回定例会で、報酬の減額改定の条例を議決いただいたため、職責や地位にふさわしい報酬額を議会の議決により条例をもって定める。④直接報酬等の経費削減につながるものではない。

請願・陳情の審査結果 (平成22年第3回定例会)

品川区議会議長あてに提出された請願・陳情について、審査結果をお知らせします。

付託委員会	請願・陳情件名	受理番号	審査結果※
総務委員会	永住外国人への地方参政権附与を日本政府に求める意見書を採択しないよう求める陳情	平成22年 陳情 第1号	継続審査
	永住外国人への地方参政権附与を日本政府に求める意見書を採択しないよう求める陳情	平成22年 陳情 第2号	継続審査
	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出を求める請願	平成22年 請願 第14号	採択
	固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出を求める請願	平成22年 請願 第15号	採択
区民委員会	品川区内の中小企業の振興対策に関する陳情	平成22年 陳情 第14号	趣旨採択
厚生委員会	特別養護老人ホーム・老健施設の増設と介護現場で働く人の待遇改善を求める請願	平成22年 請願 第16号	趣旨採択
建設委員会	高齢者が安心して住み続けられるための支援に関する請願	平成22年 請願 第18号	採択
	区内を循環するミニバスの運行を求める請願	平成22年 請願 第19号	不採択
文教委員会	来年4月に開設する2園にとどまらず待機児解消を目指しさらに認可保育園の増設を求める請願	平成22年 請願 第17号	不採択
	品川区立私立幼稚園児保護者負担教育費軽減に関する請願	平成22年 請願 第20号	継続審査
議会運営委員会	教育都市の実現をめざし、本会議場において国旗の掲揚を求める請願	平成22年 請願 第1号	継続審査
	議会基本条例の制定に関する陳情	平成22年 陳情 第10号	継続審査

※採択(区議会として、ご希望に賛同します。) 趣旨採択(区議会として、ご希望の趣旨には賛同します。) 不採択(区議会としては、ご希望に賛同しかねます。) 継続審査(区議会として、引き続き慎重に審査します。)